

■ 個人発表スケジュール

*教職大学院 2 コースの 2 年次院生がプレゼンテーション(発表)を行います。

*発表時間は一人につき、発表 15 分・質疑 13 分・移動等 2 分です。

*会場→ **A** 会場 《講義棟 2 階 B 2 0 2 講義室》
B 会場 《講義棟 2 階 B 2 0 3 講義室》
C 会場 《講義棟 2 階 B 2 0 5 講義室》
D 会場 《講義棟 2 階 B 2 0 7 講義室》
E 会場 《講義棟 2 階 B 2 0 8 講義室》

*発表者 **黄枠**：教職実践力高度化コース院生（現職教員院生）

青枠：教員養成特別コース院生（学部卒院生）

時間	会場	【午前の部】	校種
9:00 9:30	A	主体的にチャレンジできる生徒の育成をめざした集団活動の実践	中学校
	B	中学校における国際感覚をもった生徒の育成 -視覚資料を活用した道徳の教材開発を中心に-	中学校
	C	社会的思考力の育成をめざした中学校社会科の授業改善 -アクティブ・ラーニングの手法を取り入れて-	中学校
	D	学習意欲を高める授業づくり -児童の疑問を、授業のねらいにつなぐ-	小学校
	E	学びを深めるための発問と問い返し -イメージの明確化と共有を目指して-	小学校
9:30 10:00	A	小学校外国語教育における授業設計モデルの構築	小学校
	B	中学生の生活満足感を高める取り組み	中学校
	C	生徒の目的意識の醸成を目指した組織的展開の開発的研究	高等学校
	D	苦手な子も活躍できる体育の授業づくり -遊びの要素を取り入れた場の設定-	中学校
	E	教師の指導言を工夫した授業づくり	小学校
10:00 10:30	A	ともに伸びる教職員集団を目指して -若年教員の力量形成を中心に-	小学校
	B	小学校における社会性を高める授業ユニット開発 -SST・SGEを主体にして-	小学校
	C	生徒の自己肯定感と目的意識の醸成に向けた組織的協働の展開	高等学校
	D	ゴール達成に向かう支援の在り方 -児童の思考の広がりとの共有を目指して-	小学校
	E	児童が考え合う場をつくるための手立てについて	小学校
10:30 11:00	A	児童のエンゲージメントを高める学校づくり -学習習慣の形成を軸に-	小学校
	B	高校生の道徳性を高める取り組み	高等学校
	C	思考スキルの教科横断的な活用による思考力育成	小学校
	D	子どもと子どもが主体的につながる授業実践 対話から「深い学び」へ	小学校
	E	教科の系統性を意識した授業づくりと学習者の目線に立った教材づくり	中学校
11:00 11:30	A	主体的に学ぶ児童の育成 -学ぶ意欲を高める取組を通して-	小学校
	B	子どもが抱える教育課題解決に向けた教育活動の生成と実践	小学校
	C	ICT活用とALの実践を通じたコミュニケーション力の向上	中学校
	D	子どもが主体となる授業づくり -ねらいに沿った思考を促すことを通して-	小学校
	E	子どもの考えが深まる授業づくり -問い返しに焦点を当てて-	小学校
11:30 12:00	A	中学校保健体育科における心の教育	中学校
	B	国際的な視点を踏まえたインクルーシブ教育の取組をめざして -教職員のインクルーシブへの意識の現状と課題の考察を中心に-	中学校
	C	高等学校数学における科学的思考力の育成を図るための関数指導の事例研究	高等学校

時間	会場	【午後の部】	校種
14:45 15:15	A	よりよい生活の実現に向けた児童の主体的な学びを促す学習環境整備	小学校
	B	「自己調整学習」を通じた学習意欲の向上 ～定期テストでのPDSサイクルづくりを中心に～	中学校
	C	小中連携による中学校国語科「読むこと」の授業づくり研究 -生徒に豊かなイメージを育む教材を手段として-	中学校
	D	英語の授業における自己効力感を育成するアクティビティ教材の開発	高等学校
	E	児童の考えを広げ、深めるための応答の在り方	小学校
15:15 15:45	A	中学校における人間関係を形成するプログラムの開発 -人・もの・ことの出あいを学習資源として-	中学校
	B	中学校国語科における生徒の主体的な学びを目指す授業づくりについて -課題設定と手立ての工夫-	中学校
	C	学校間をつなぐ関数指導の一方策 -小中接続を意識した授業実践を通して-	中学校
	D	小学校中学年における児童相互のよりよい人間関係づくりに向けた支援	小学校
	E	児童の思考をアクティブにする授業を目指して -問い返しの活用-	小学校
15:45 16:15	A	小学校第1学年における自立を目指した指導や支援について	小学校
	B	今と未来をつなげるキャリア教育の実践 -学びと成長の過程を意識させる取り組みを通して-	高等学校
	C	中学校における学級指導とグループアプローチを組み合わせた学習開発 -生徒一人一人の持ち味を生かすために-	中学校
	E	子どもに深い理解をもたらす授業のあり方について -中学校理科を通して-	中学校
16:15 16:45	A	学級担任と養護教諭のチーム・ティーチングによる保健学習の実践と評価	小学校
	B	学校と家庭が連携して取り組む情報モラル教育の授業づくり	小学校
	C	頑張る姿が輝く小学校の集団作りの在り方 -一人ひとりの児童理解を基盤に-	小学校
	E	系統性を重視した教材研究	小学校

★発表時間 一人につき、発表15分・質疑13分・移動等2分

★発表者 黄梓:教職実践力高度化コース院生(現職教員院生)

★会場
A会場 ≪講義棟2階B202講義室≫
B会場 ≪講義棟2階B203講義室≫
C会場 ≪講義棟2階B205講義室≫
D会場 ≪講義棟2階B207講義室≫
E会場 ≪講義棟2階B208講義室≫

青梓:教員養成特別コース院生(学部卒院生)